



あなた(飼い主)と幸せに暮らしたい。 守ってほしい5つのこと。



1 最期まで責任と愛情を持って飼いましょう

「ペットを飼う」ということは、その「ペットの命を預かる」こと。ペットの命に責任を持つのは、飼い主である「あなた」だということを忘れないで。

ぼくたちの寿命は、平均10年以上あるよ。ずっと一緒にいたいんだ。



2 不妊・去勢手術を受けさせましょう

全国の犬・猫の引き取り数のうち40%以上が子猫です。望まれない命を生み出さないためにも、適切に飼える頭数を飼育しましょう。

動物は自らの意思で繁殖をコントロールできません。手術には生殖器などの病気を減少させる効果もあります。



3 迷子防止などの対策を取りましょう

脱走などで迷子になると交通事故や感染症などの危険があります。散歩のときは必ずリードをつけ、迷子札やマイクロチップなどを付けましょう。※犬には鑑札や注射済票も必要。



おうちに帰りたいよー

4 日頃から周囲の人への配慮を心がけましょう

動物が苦手だったり、アレルギーがあったり、鳴き声や臭いなどを迷惑に感じる人もいます。犬にはきちんとしつけをして、猫は室内で飼うようにしましょう。飼い主が地域のルールやマナーを守る事が大切です。



公園にふんをほったらかしにする人がいて困ってるんだ。



5 病気の知識と予防を身に付けましょう

狂犬病をはじめとする動物由来の病気や感染症などがあります。正しい知識があれば防ぐことができるので、予防接種など必要な注意を払いましょう。



ペットの異常に気づいたら、獣医師に相談しましょう。

動物由来感染症については厚生労働省のホームページでも紹介しています。



QRコード

毎月(7・8月を除く)第1・3日曜日、第4木曜日の10時30分～14時、小倉城庭園前(小倉北区内)付近などで開催しています。雨天中止。譲渡が決まれば後日ご自宅などでお渡しします。※北九州市動物愛護推進協議会主催。

市役所前譲渡会

譲渡したい人、譲渡を受けたい人は事前の**申**が必要ですよ。



ワンニャン譲渡会

動物愛護センターや小倉城庭園前で、子犬・子猫を中心とした譲渡会を開催しています。また飼い方の事前講習や、しつけ方の教室も行っています。詳しくは**問**を。

譲渡会の開催

問 動物愛護センター ☎581-1800

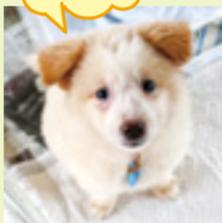
譲渡でつながる命のバトン

保護犬や保護猫を飼いませんか
動物愛護センターでは、飼い主不明で保護されたり、飼い主の高齢化などさまざまな事情で飼えなくなつて引き取った犬・猫を新しい飼い主に譲渡する取り組みを行っています。市が委嘱する動物愛護推進員や同センターに登録している動物愛護団体などの協力で、昨年度の犬猫の譲渡数は441頭と

なりました。
譲渡対象には、子犬・子猫だけでなく、性格や大きさなどがわかってる成犬・成猫もいます。自分の飼育環境や生活スタイルなどに合う一頭を家族に迎えることを考えてみませんか。



ぼくたちに会いに来てね



市のホームページで、譲渡対象の犬・猫を紹介しています。
子犬や子猫、成犬や成猫を性別、毛色、推定年齢などとともに写真で確認できます。
譲渡する際には、電話での飼育環境調査や条件、注意事項があります。詳しくは動物愛護センターまで**問**を(月～金曜日の8時30分～12時、13～17時。祝・休日、年末年始を除く)。

※掲載した写真の犬・猫はすでに譲渡されている場合があります。

犬や猫に関する相談を受け付けています

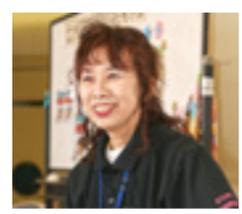
動物愛護センターでは、犬や猫に関する相談の受け付けやさまざまな情報の提供、しつけ方教室や触れ合いイベントの開催を行っています。また、行方不明の犬や猫の情報提供や管理も行っています。

■犬・猫用フードなどの寄付を受け付けています。



問 保健福祉局動物愛護センター ☎581-1800へ。

「ペットも大切な家族」人と動物をつなぎたい



▲動物愛護推進員 金子 美香さん

譲渡会や啓発活動をする中で、ペットを最後まで看取ってもらえるように命の大切さを伝えていきます。一人一人が責任を持って動物を飼うことが共に幸せに暮らせる社会につながると思っています。